会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会	会議場所	第3委員会室
		担当職員	坂田
日 時	平成26年6月2日(月曜日)	開 議	午前 10 時 40 分
		閉 議	午前 11 時 20 分
出席委員	立花 眞継 苗村 酒井 井上 藤本 西口 竹田		
理事者 出席者	小川健康福祉部長 俣野地域福祉課長 猪上地域福祉課担当課長		
事務局	坂田		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	議員 - 名()

会 議 の 概 要

1 開議

2 案件

(1) 行政報告 5月29日発生の事件について

[理事者入室] 健康福祉部

< 健康福祉部長 >

あいさつ

< 地域福祉課長 >

説明

～ 10 : 50

[質疑]

< 井上委員 >

興奮した原因は何か。 責任能力の有無はどうか。

< 地域福祉課長 >

引っ越しをしたいが具体的に何も決まっていない状況での相談だった。以前から障害福祉課等と連携し協議を行ない対応してきたので、地域福祉課だけで対応が出来ない旨を伝えたが、容疑者はどうしても引っ越しをしたいと考えていた。 警察の判断である。

< 竹田委員 >

興奮状態時に障害福祉課の担当者が来て、落ち着かせる状況がつかれなかったのか。

< 地域福祉課担当課長 >

最初は冷静であったが、途中で自分の思いが伝わらないと感情的になった。来庁時には障害福祉課と連携をして対応していたが、今回は出来ていなかった。

< 竹田委員 >

同じフロアでもあるので、今後は十分に気を付けて親切丁寧な対応を願う。

< 地域福祉課長 >

急に感情的になり帰ったので、人を呼ぶ間が無かった。

< 苗村委員 >

今後の窓口対応についての検討は。

< 地域福祉課長 >

ケース会議を行いながら対応をしているが限界がある。職員全員がいち早く危険を察知できるような感覚でいる。悪意のある人物に対しての予防が必要だと考えている。

< 苗村委員 >

複数で対応するなどの必要がある。

< 地域福祉課担当課長 >

容疑者については過去にも問題のある行動があった。その度に関係者会議を開催するなど関係機関と連携して対応してきた。直近では2月に関係機関や主治医と検討会議を開催する中で、現状のグループホームで暮らすのがふさわしいとしていた。

< 健康福祉部長 >

他の公務があるため退席する。

[健康福祉部長、地域福祉課担当課長退席]

11:00

< 藤本委員 >

被害職員のケアについての検討はどうか。マニュアル作成や警備を含めた再発防止対策の検討はどうか。

< 地域福祉課長 >

被害職員のメンタルケアについては十分に対処する。刺又やカウンター出入口に扉を設置するなどの検討をしている。窓口では難しいが、訪問する場合はケースにより2人体制で行っており、危険を察知した場合は逃げるように伝えている。

< 西口委員 >

引っ越し費用の相談で来庁したが、具体的な引っ越し内容について関係機関と協議を行う前に事件が発生したのか。

< 地域福祉課長 >

そのとおり。

< 西口委員 >

対応マニュアル等を作成して、職員の安全確保を願う。

< 井上委員 >

新聞には「刺してやる」と言って立ち去ったとあるが、再度来庁した際に刺されるのではないかという意識はあったのか。防犯対応の訓練が必要ではないか。

< 地域福祉課長 >

通路を歩いているのを見かけた時に、少しおかしいと感じた。カウンターの中に入り約3メートル近づいた時に包丁が見えたので逃げたと聞いている。今までは訓練は行っていなかったが、今回の事件を教訓に検討をしたい。

< 井上委員 >

奇声を上げたりはしなかったのか。どのような状態で取り押さえられたのか。

< 地域福祉課長 >

無言で近寄り切りつけた。また、取り押さえられる時に暴れたりしなかった。

< 竹田委員 >

福祉施策としての対応はどうか。障害福祉課の担当者が同席をする中で生活保護の相談を行うなど、横の連携を願う。また、障害福祉課でもう少し相談が出来なかったのか。

< 地域福祉課長 >

容疑者は市役所に毎日か2日に一度は来庁し、障害福祉課で話をして、次に地域福祉課で話をするのが日課であり、何か新たな相談をするということは特に無かった。

<立花委員長>

過去にも問題のある行動があったと説明されたが、今回の事件発生が考えられる人物だったのか。

<地域福祉課長>

本市在住時に施設でトラブルがあった。南丹市のグループホームでもトラブルがあったと聞いている。

<立花委員長>

訓練など今後の対応については、十分に検討を願う。

[理事者退室]

～ 11 : 20

散会 ～ 11 : 20